

関市【富野地区】

令和元年度事例

【地域の概要】

【平成30年度 アンケート調査6地区のうちの1地区】

- 旧関市の北部にある平坦な水田が少ない山間地域
- 少子高齢化により、農業後継者が少なく、獣害の被害も多い。

取組開始前の状況や課題

○アンケート結果

- ・農業経営の縮小・辞退希望者が予想以上に多い。
- ・営農組織、農業法人の設立が必要。
(地区内にある営農組織ではカバーできない。)
- ・用水の確保や水田の整備の必要性。
(水が安定供給されない、水田が狭く小さい。)

取組内容

○今後アンケート結果の報告及び今後の地区内の農地についての意見交換（2回実施）
(JA富野支店長、農業委員・最適化推進委員・農林課職員・農業委員職員)

- ・意見交換会の結果
地区内でも、営農組合や農業法人がいる地域があることから、地区全体での説明会を行う必要があるとの意見。
- ・地区内4ヶ所で、耕作者及び所有者を集め、アンケート調査の結果報告及び意見交換会を開催することを決定。

今後の展開と方向性

- 担い手がいない地域の農地を守るための対策
- 地区内の農業者の一人が中心となり、農地を集積をして農業経営を希望者がいるため、市、JA、地域が協力をして応援体制をつくる。
- 未整備農地を解消するための推進。
- 営農組織での獣害対策・組織の法人化を支援し、経営基盤の安定化を図る。